

2022 年度教育ネットワーク中国第 1 回研修会（SD）開催報告

1. テーマ 「これからの大学運営と大学職員」
2. 日 時 2022 年 6 月 4 日（土）13:00～17：00
3. 形 式 ZOOMを利用した遠隔開催
4. 対象者 今年度の新任職員および概ね入職 3 年以下の職員

5. 内容

13:00～13:05 開会

13:05～13:10 趣旨説明

13:10～14:10 講演「大学における内部質保証」

教育ネットワーク中国理事 広島国際大学長 焼廣 益秀

14:10～14:20 質疑応答

14:20～15:00 グループワーク①

（これからの社会ではどのような大学（や大学運営）が必要とされると思いますか）

15:00～15:10 休憩

15:10～15:40 グループワーク②

（これから大学職員として働いていく上で、どのような知識や能力を身につけたいですか）

15:40～16:40 グループワーク③

16:40～16:55 グループ代表発表

16:55～17:00 まとめと講評・閉会

6. 参加者について

22 人参加（申込者数 16 人）

県立広島大学 1 名、比治山大学・比治山大学短期大学部 2 名、広島国際大学 2 名
広島修道大学 7 名、安田女子大学 4 名

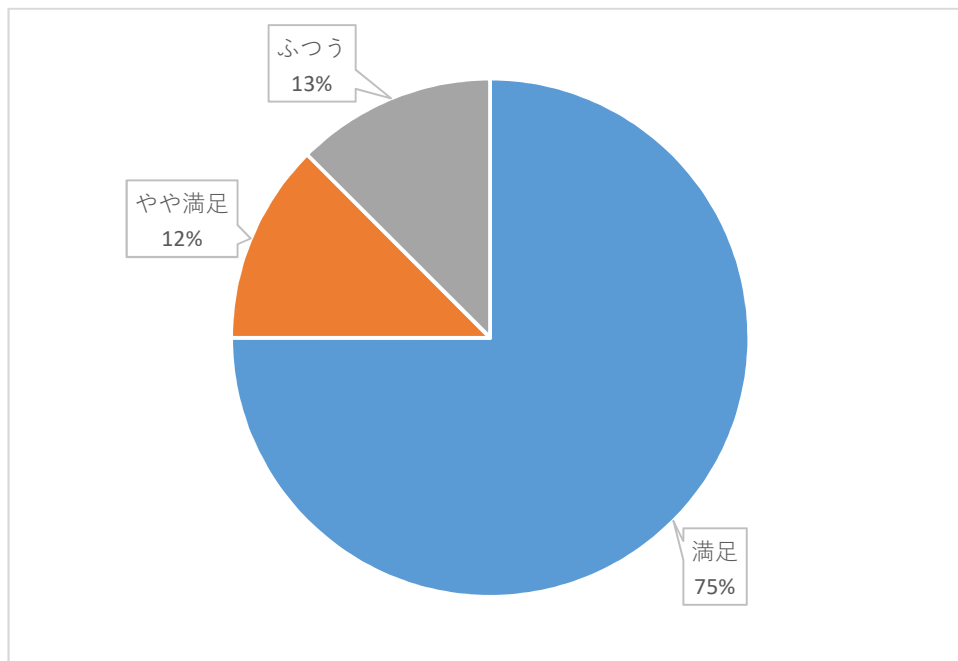
ほか、講師 1 名、研修委員 3 名、事務局 2 名

7. アンケート（別紙）

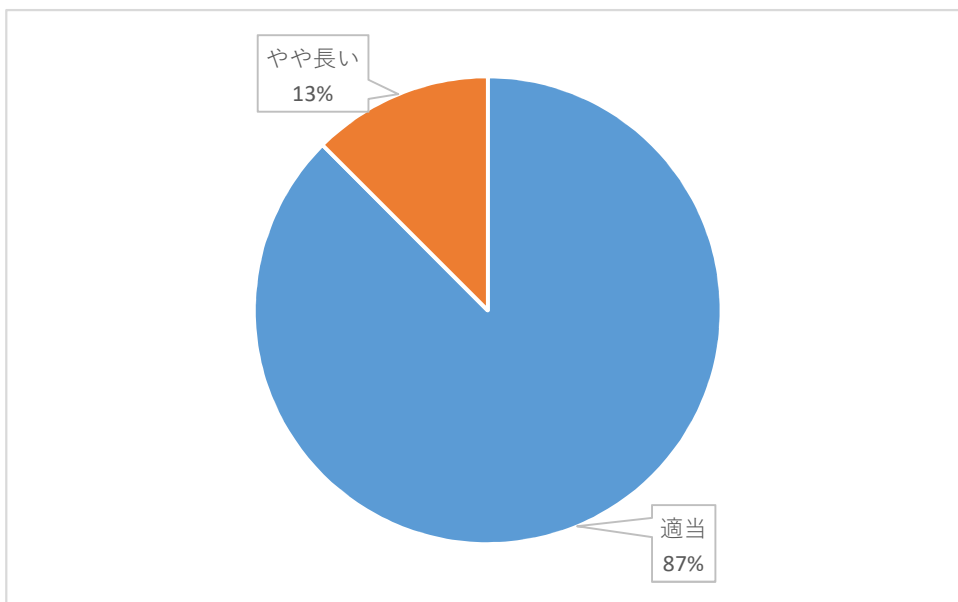
16名回答

I 講演会について

①内容について

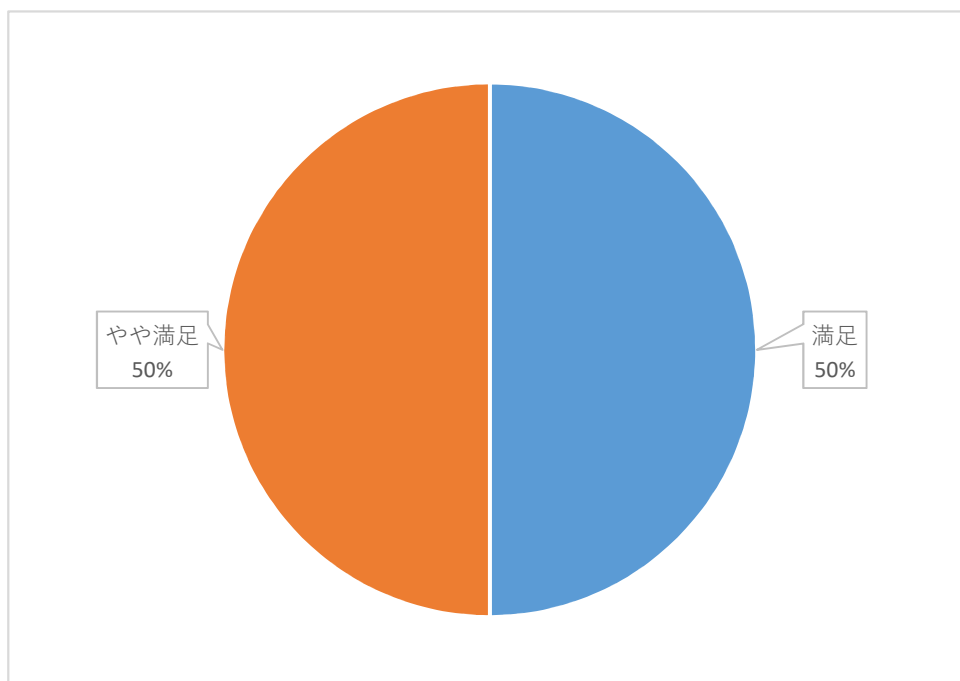


②時間について

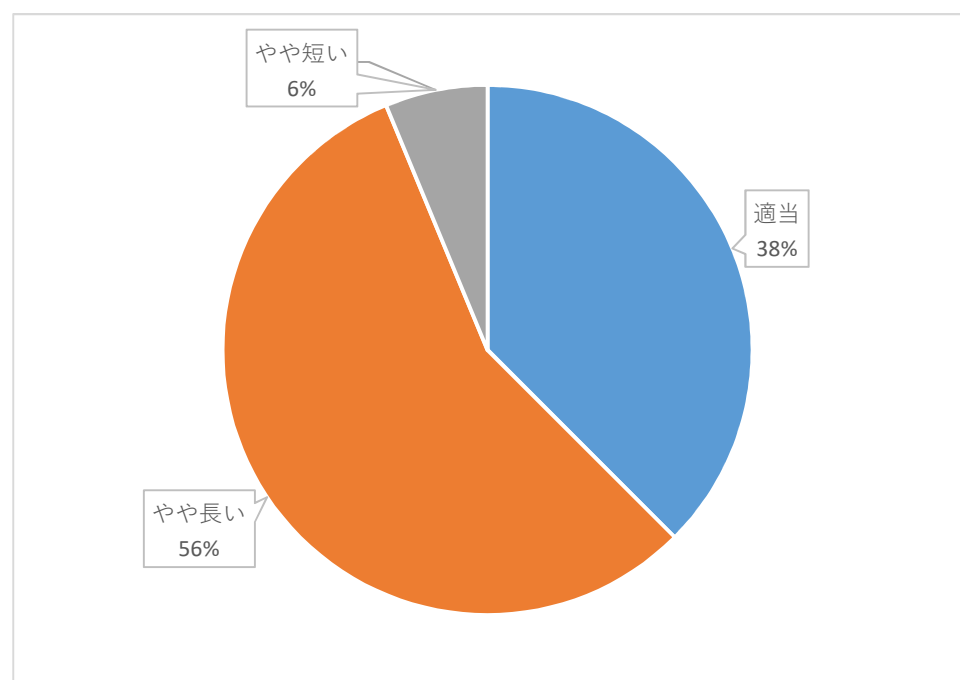


II グループワーク②について

①内容について

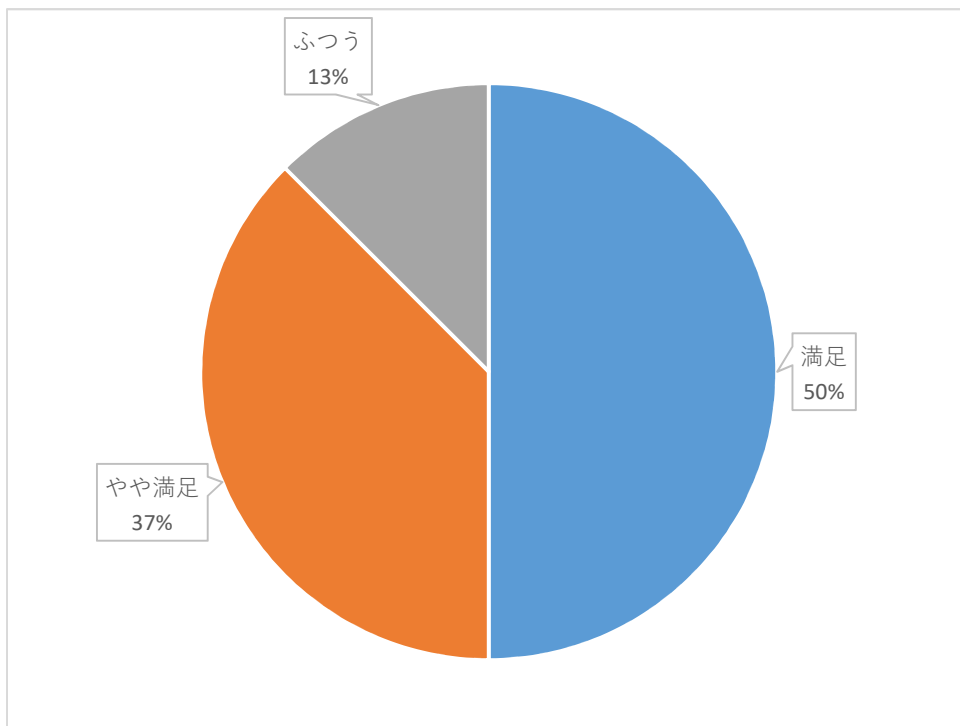


②時間について

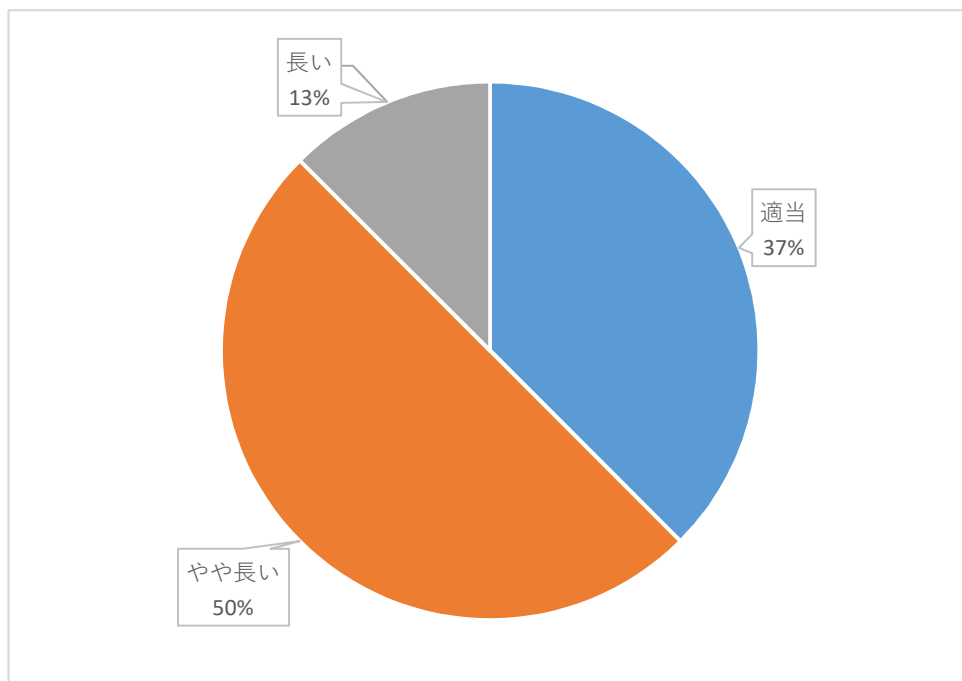


Ⅲ グループワーク③について

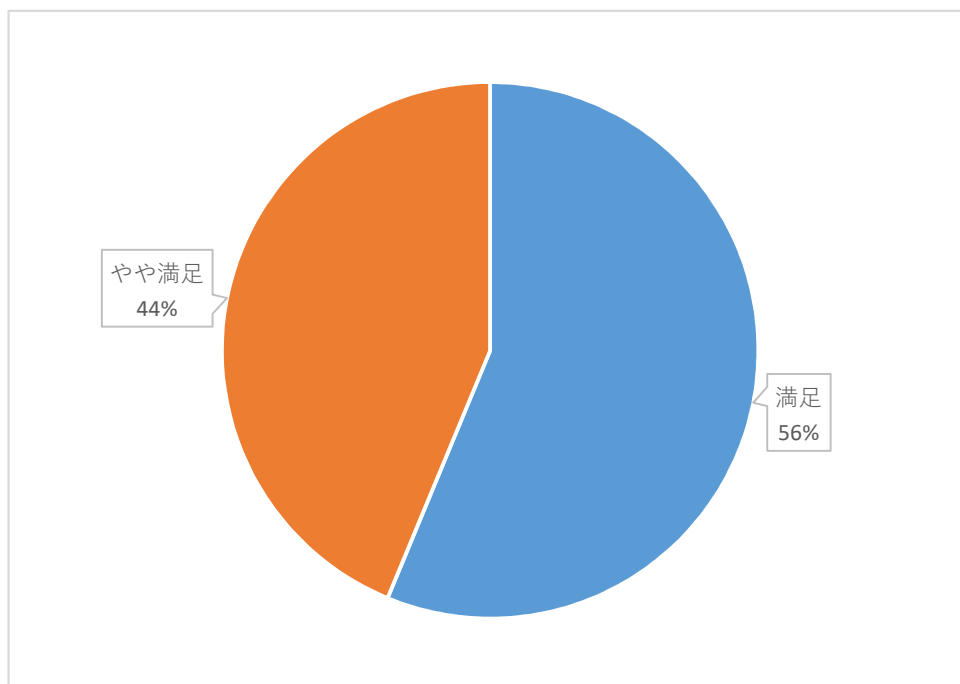
①内容について



②時間について



Ⅳ今日の研修会について



○次年度の研修会実行委員希望者

2名

講演会について
大学職員として押さえておくべき知識や業界の展望など、権威のある先生にご講演いただけたことは非常に貴重な時間でした。
大学職員として勤務する上で、大学設置基準や認証評価といった、非常に重要な知識を学ぶことができました。国の諸規則や方針についても、過去からの変遷を用いてご説明いただけた点も、深い理解に繋がりました。
「内部質保証」の概要や大学設置基準、認証評価制度、教学マネジメント、事務職員の役割など大学に求められている内部質保証に関して幅広く学ぶことが出来ました。今後、事務職員として大学運営を意識して業務に取り組むべきだと思いました。
貴重なお話を伺うことができ、初めて知ることばかりで大変勉強になりました。 「教育の質保証」という言葉を理解するきっかけをいただきました。質保証を実現するために教職員が一丸となって進めること、また、自ら継続的に行える大学組織で実現できることと理解しました。念頭に置き業務遂行します。ありがとうございました。
大学の質や在り方について今一度見直す必要があると思った。 そのためには、教員主体ではなく教職員が一緒になって大学運営を定めていく仕組みを整える必要があると思った。
大学の設置基準や設置認可について、言葉を聞いたことがあってもなかなかきちんとした理解ができていませんでしたが、今回歴史などからご説明いただき、大変わかりやすかったです。
前半に焼廣学長のご講演を拝聴し、大学運営にかかわる内部質保証について学ぶことができました。普段耳にするが、業務の中ではなかなか馴染みがないことだったので、内部質保証や大学設置基準をここで理解することができてよかったと感じます。
法令やガイドラインに基づいた大学の目的について、大学を全体的にマネジメントされている学長から講義を受けることができ貴重な経験となりました。
教職共同の方針が問われる今、事務職員も教員も主体的に参画することが求められるため、事務職員として自主的に教員の方々へ関わっていくべきだと感じました。そのためには、自分の専門的知識の向上に努める事、幅広く業務を知ろうとすることや積極的に取り組む姿勢が大事だと感じました。
事務職員としての役割や、学生のために教員の質の追及など必要項目を再確認することができた。
私は広島修道大学の勤務は今年の4月からですが、大学職員としての職務自体は前職を含めると5年目を迎え、学部学科再編に伴う文部科学省への設置認可の届出業務等を担当してきました。本日講演いただいた質保証や大学設置基準等は内容も色濃く多岐に渡るため、なかなか正確に把握することは難しいと思いますが、大学職員として働くうえで判断の拠り所となる重要な内容だと思いますので、改めて資料を読み返し、今後の業務に活かしていきたいと思います。
私は恥ずかしながら「内部質保証」という言葉に無識であったため、本日の講演は大変貴重なものでした。大学自らが質保証に向けた自主的で継続的な努力が必要になるとのことで、大学運営に携わる者として多方向にアンテナを張り情報収集に努めていくことや、大学について学んでいくことから始めたいと思いました。
日本の質保証、認証評価について初めて知ることが多く、非常に勉強になりました。 今後の業務に活かしていきたいと思います。
入職して半年ということもあり、まだまだ知らないことばかりだと再認識できました。 大学教育のこれまでの変遷や、今後必要となってくる職員の働きについて資料をもとにお話しいただき、とても分かりやすかったです。
大学職員として知っておくべき事柄を俯瞰的に学ぶことができた。知識が足りず理解が及ばない箇所もあったので資料を熟読して復習していきたい。
大学職員として知っておくべき制度や質保証、今後の指針について、改めて学ぶことができたように思います。また、大学職員として、今後の大学運営を担う一員であるとしてより強く意識することができました。

今後の講演で希望する内容
持ち回りで各大学が行っている独自性のある活動の紹介を行ってもらえると、自分の大学の改善・改革検討に繋がるかと思えます。
私立大学の財務状況に関する優良事例の紹介
広島県内の大学における共通課題があるかと存知しますので、どのような課題があるのか、広島県内の大学における共通課題と大学連携における役割に関してご教授頂きたいです。「教育ネットワーク中国」の意義や役割についてご教授頂きたいです。
今回のように大学職員として知っておくべき「基本的なキーワード」「基本的に知っておくべき知識」「統計資料」をもっと知りたいと思います。またそれらがラダー研修となっていると非常に理解が進むかと思えます。個人の努力により情報収集することも大切であるとおもいますが、効率的に学べることを望みます。
現状を打開するような革新的なことをしている大学の取り組みについて
今回同様、大学で働く上での基本的な知識をつけるための講演をいただけると大変ありがたく思います。
大学・学部設置についてより詳細に知りたいと感じた。また他大学の学生募集に関する取り組みについても学んでいきたい。
大学における資金調達や資産運用について詳しい方がいらっしゃいましたら、講演いただきたい。
今後の大学の在り方
・ 18歳人口の減少が進む中で、大学の運営について ・ 大学の地域貢献について（必要性和事例）
今後も大学職員として知っておくべき事柄を俯瞰してお話しいただきたい。
今後の広島県内の大学における課題

研修会全体について
教務関係の業務をしているので、他大学の業務内容を知って良い取り組みは積極的に自分の大学に取り入れていきたいです。
同様の業務をしている他大学の職員と話し合える貴重な機会となりました。
普段交流出来ない方とお話しが出来、大変貴重な機会でした。 同大学の他部署方や他大学の方の同じ部署の方と大学の現状や課題、大学職員としての在るべき姿などに関して議論出来たので大変貴重で学ぶことが多くありました。
まずはこのような貴重な研修機会を設けてくださいました、教育NW中国の皆様へ御礼申し上げます。同時期入職の他大学の方々と一緒に研修を受講できることは大変勉強になり、貴重な機会となりました。刺激もいただきました。ありがとうございます。 一方で、Cグループにおいては、新卒・1年目の八木さん（国際大学）が社会人1年目の仲間とセッションしたいこともあったのではないかと勝手ながら想定します。年長者があまり話しすぎないように留意しましたが、結果として年長者が八木さんの発言量を大幅に上回るようになったのではないかと反省しています。
既採用者の方が多かったので、全く異なる業種から大学職員へ転職した経緯や、前職を踏まえた現時点での大学の印象、すべきことなど貴重な意見を聞くことができた。
今まで、他大学の方と意見交換などをする機会がなかったため、とても貴重な時間となりました。ありがとうございました。 今後は、対面での実施ができることを願っております。
学習と交流ができましたので、大変充実した時間でした。ありがとうございました。
他大学の状況等も伺うことができ良い機会でした。ありがとうございました。
各グループで最初にアイスブレイクを実施した方が良いと思いました。 自主的に実施したグループがほとんどだと思いますが、リモートということもあり、直接の会話よりラグがあるため、反応が遅くなることもありました。良い雰囲気づくりも大切かと思いましたので、事前課題にアイスブレイクの内容も含まれていると良いかなと個人的に感じました。
他大学の職員の方々と交流することができ、多くの学びがあった。様々なキャリアを経験している先輩方ばかりだったので、業務の中で大切にしていることなど聞くことができてよかった。
同グループ内での情報交換は積極的にできたので、特に他大学の様子等を知ることができて、有意義な時間となりました。ただしグループワークの時間が少し長く感じました。また全体での意見交換時間がなかったので、他のグループの様子が分かりにくいと感じました。
グループワークにて、担当業務外の大学に関する質問があった際に十分な回答ができないといった場面がありました。勤続年数が長い方が共に参加することや、他大学について質問がある際は事前に回収しておくなどの対応があれば良いのではないかと感じました。
グループが新任の方が多かったため、グループワーク②の課題となっていたこれからの社会でどのような大学が必要とされるかについて、大学職員で経験を積まれている先輩方の考え等も聞きたかった。
・18歳人口の減少が進む中で、大学の運営について ・大学の地域貢献について（必要性和事例）
この度は新任職員研修会を開催いただきありがとうございました。様々な経歴の方や他大学の方との意見交換のなかで、多くのものを学ぶことができました。 これからの大学づくりや、身に着けるべき知識・能力についての考えの幅が広がったように思います。

グループワークで意見交換したい項目について
業務改善事例の共有
大学連携の意義やその方法（教育ネットワーク中国の活用も含めて）
・対面での学生対応の留意点（わかっているようでわかっていない） ・大学職員としての倫理観（わかっているようでわかっていない） ・大学進学時において中国地方に高校生をとどめさせる方法（プレスト）
個人の基礎能力（どんな資格を持っているか、現在の自分の在り方はどのような経験に基づいて作られているかなど） 少子高齢化社会について、大学はどこまで生き残れるか
今回同様、事務職員の役割といった話題の他、モチベーションの保ち方、働く上で大切にすべきことなど、共通の話題であれば、各大学の特色についての話をしながら意見交換ができだと思います。
他大学の学生募集に関する取り組みについて
所属大学の良いところ、改善してほしいところ（他大学の良い部分を参考にでき、本学の見直しにもなるため。）
せっかく多くの大学から新卒から転職組まで様々な背景の職員が参加しているので、大学の仕事観や気づき等、多くの方の話を聞いてみたいと思いました。
大学職員のスキルアップ」について意見交換をしたいと研修会を通じて感じました。グループワークで興味関心を抱いている分野や、目指す人物像に違いがあることが分かったため、「大学職員のスキルアップ」というテーマで、皆さんがどのような目標を定めているのか、目標達成に向けてどのようなアプローチを考えているのか聞いてみたい、議論したいと思いました。
各大学の課題について
最後にグループの皆さん に挨拶を する時間が欲しかったです
講演の内容について難しい箇所もあったので使用される資料について事前に配布があるとより理解しやすかった。

今後参加してみたいイベント内容
教育ネットワーク中国が主催している各種イベント
ALL広島で広島県内で大学進学することを魅了できるイベントができればと考えます
・13年未満の職員を対象とした基本的な知識をつける研修 ・キャリアセンターの取り組み共有
教職課程業務についての研修会があれば参加してみたいです。研修会の際に他大学の同じ業務に携わる職員とも情報交換をしたいと思います。
広島という地にある大学の集まりですので、広島という地域の特色や歴史について知ることや、大学としてどのようなアプローチが可能かについて職員として考えてみたいです。
・仕事をしていて困ったこと ・大学独自の取り組み
前職がある方にはこれまでの仕事内容とのギャップを伺ってみたい。
・同じ部署同士の意見交換会 ・入職時期が近い職員との交流会